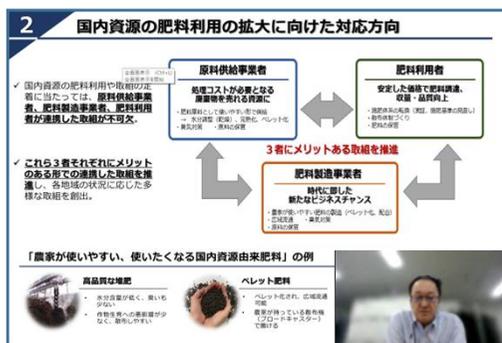


中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワーク 第5回勉強会（概要）

- 国内肥料資源の利用拡大に向け、中国四国地域の関係者で構成する中国四国地域国内肥料資源利用拡大ネットワークの取組の一環として勉強会を開催しました。令和7年度1回目の開催となる本勉強会では、農林水産省の国内肥料利用拡大に向けた対策をはじめ、BSEに係る肥料規制の見直し、地域資源を活用した取組事例等を紹介しました。

勉強会の概要

- 開催日：令和7年8月27日(水)
14:00~15:15
- 方法：オンライン
- 参加者：会員87名



耕力堆肥の形状



○プログラム

国内肥料資源利用拡大対策の推進
農林水産省 農産局 技術普及課

国内肥料資源の利用拡大に向け、国内肥料資源利用拡大対策事業の概要や、全国推進協議会の取組、国内肥料資源利用拡大アワード等の説明。

BSEに係る肥料規制の見直しについて
中国四国農政局 消費・安全部 農産安全管理課

牛等由来肥料を原料とする肥料に義務付けられていた「原料加工措置又は摂取防止材等の混合」について、国内でのBSEリスク管理措置の徹底等により、これらの措置が不要となったことを踏まえ、今後の取組み等について説明。

地域資源（お茶葉、石炭灰、菌床シイタケ廃菌床）を活用した堆肥開発
西日本砕石株式会社 代表取締役 岡 寛 氏
耕力農園株式会社 農園長 中村 隆宏 氏

西日本砕石株式会社は、愛媛大学との共同研究により、飲料製造工場から出る茶殻、石炭火力発電所から排出される石炭灰、菌床シイタケ廃菌床を混合・発酵させた「耕力堆肥」を開発。有機農家を中心に出荷量が増加し、令和4年に堆肥プラントを整備。また、月に1回開催している有機農業に係る勉強会の説明があり、今後の目標として、有機農家を増やして地域の有機農業を推進、更に火力発電所、食品工場は全国に多数あり、全国に取組を広げたいとの思いが語られた。